

看護部通信

2004.2.4発行 第2号

2004年もスタートしたばかりです。2003年度、看護部では“目標をもって活気ある職場にしよう”というスローガンを掲げ、全員に「私の目標」というファイルを配布し、個人の目標を立ててもらいました。①自己啓発目標 ②部署や役割にかかわる目標、2つに分けて立てられたと思います。2003年度も終わりに近づき、いよいよ振り返りの時期になりました。目標がどこまで実現できているか自己評価してみましょう。看護部通信では、年度末の目標達成の自己評価と面接について説明します。

1.自己評価（下記の3つのシートを記入して面接にのぞむ）

- ・ 2003年度私の目標・振り返りシート
- ・ 情意評価シート（組織人としての態度）
- ・ 業績シート（研究・自己啓発・教育・役割など）

2.面接（師長・師長代理）

『2003年度私の目標・振り返りシート』を基に、目標達成状況を振り返り、成長に向けて支援できるように話しあいます。

3.評価

『2003年度私の目標・振り返りシート』の上司欄に評価を記入し、次期の目標につなげます。

※今年度、組織への貢献度が高い人には、期末賞与に反映されます。

編集:岡山ミサ子 江崎真知子

新生会看護部クリニカルラダーの概要

新生会看護部の看護実践能力を評価するクリニカルラダーの枠組みが出来上がりました。あなたは、どの段階かチェックしてみましょう！

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
定義		マニュアルに添って、指導を受けながら基本的な看護実践ができる。	対象に応じた適切な看護実践が主体的にできる。	全体の状況を把握し、長期的な見通しで根拠に基づいた看護実践ができる。	専門性を発揮し、他の看護師の手本となる看護実践ができる。
到達目標	※看護実践	①安全・確実に基本的な看護実践ができる。	②個別性をふまえて優先順位を考慮し、看護実践ができる。	③対象をまるごと捉えて、根拠に基づいた継続看護ができる。	④状況を瞬時に判断し、適切な看護実践ができる。
	管理(責務・役割)	①看護部の理念・目標を理解し、チームの一員(メンバー)として、自覚と責任のある行動ができる。	②チームメンバーの役割と責任を自立してできる。	③チームリーダー(その日)の役割と責任が自立してできる。	④部署としてのリーダーの役割及び主査業務・主任代行業務ができる。
	人間関係	①人との関わりの中で自己をみつめることができる。	②部署内で、他者を肯定的に受け入れ良い対人関係を築くことができる。	③部署内で相手の立場や人間性を尊重し、積極的に対人関係を築くことができる。	④他部署との信頼関係を保ち、対人関係の調整ができる。
	教育	①研修(OJT、Off-JT)に参加し、自己に必要な基本的な知識・技術を学習することができる。	②日常の看護実践に必要な知識・技術を学習し、身に付けることができる。	③EBM(論理的、科学的根拠)に基づいた看護実践に必要な知識・技術を深め、後輩の育成ができる。	④自己の学びを他の看護師の育成に活用できる。
	研究	①日常の看護実践で、問題意識をもつことができる。	②日常の看護実践を研究的視点で捉えることができる。	③研究グループの一員として、研究課題に取り組むことができる。	④主体的に研究に取り組み、看護実践に応用することができる。

※看護実践には情報収集、問題の明確化・計画立案、実施、評価が含まれる。